

あなたの視野を広げよう。人とつながろう。学ぶ、備える、伝える。



兵庫県立 舞子高等学校 環境防災科



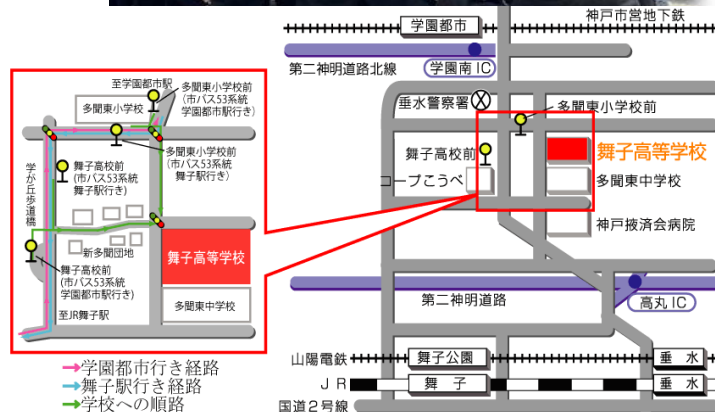
Maiko High School
Environment and
Disaster Management Course

〒665-0004

神戸市垂水区学が丘3-2

TEL 078-783-5151

FAX 078-783-5152



JR「舞子」、山陽電鉄「舞子公園」からバス53系統(約15分)

もしくは神戸市営地下鉄「学園都市」からバス53系統(約10分) ⇒「多聞東小学校前」下車 徒歩約5分

環境防災科の学び

何に取り組み



どんな力をつけるか

自然環境・社会環境を科学的視点から理解し減災に繋げる／心のケア／国際情勢／卒業研究(課題探究)／夢と防災(進路研究)／SDGsと防災

震災体験の語り継ぎ／長田のまち歩きとレポート作成／防災教育プログラムの開発と出前授業／グループ討議やプレゼンテーション

震災体験者や専門家(外部講師)の授業／校外学習／国際交流／被災地支援／インクルーシブ防災／ボランティア／消防学校体験

知識・技能

Survivor(生き残れる人)
Supporter(他者を支えられる人)
Citizen(市民としての役割を自覚し行動できる人)

になる！

<授業例>

2・3年「社会環境と防災Ⅰ・Ⅱ」:災害への備え、緊急対応、被災者支援、復興、まちづくり、福祉、教育、法律など、社会の防災力を高めるために必要なことを幅広く学びます。『架空のまちの防災体制』などの課題に取り組みます。

思考力・判断力・表現力

臨機応変な行動力、リーダーシップを身につける！

<授業例>

2・3年「Active防災Ⅰ・Ⅱ」:SDGsとも関連させながら、世界の災害や防災事情を学びます。防災学習ゲームの考案・発表にも取り組みます。

1・2年「環境と科学」:地震・火山噴火・土砂災害など災害のメカニズムを学びます。実験、人と自然の博物館見学、六甲山フィールドワークなどを行いレポート作成します。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

災害による苦しみや悲しみを繰り返さないために自分は何をすべきか、どんな協力が必要か考える！

<授業例>

1年「災害と人間」:阪神・淡路大震災の経験と教訓を受け継ぐため、消防・警察・ライフラインなど様々な方からお話を聞きます。学んだことは壁新聞にまとめたり、出前授業などで伝えます。小学生と安全マップも作成します。

*その他の専門科目:「自然環境と防災Ⅰ・Ⅱ」(1, 2年)、「環境防災講読」(2年選択)、「防災情報Ⅰ・Ⅱ」(1年, 3年選択)、「卒業研究」(3年)、「人と社会」(3年)

環境防災科の教育課程の3分の1は専門科目です。2, 3年生では選択科目もあり、大学進学や公務員志望などの進路希望に応じて必要な学習ができます。担任や専門科目の担当教員は、レポートや課題作成を通して生徒一人一人の希望や適性を把握し、進路実現に向けてきめ細かく助言・指導を行っています。

普通科目
(選択)

環境防災
専門科目

普通科目
(必修)

環境防災科で過ごす3年間

勉強、学校行事、ボランティア…どんなことにも全力で取り組みます！

後輩は先輩の姿をみながら協働することで、主体性やリーダー性を身に付けていきます。



(左) 六甲山フィールドワーク
(中) 交流及び共同学習
(右) 防災ジュニアリーダー

★環境防災科の生徒に聞きました★

「環境防災科に入学して感じたことは？」 1年生（22期生）

専門的な学びができる／自分たちで考える力が身に付く／自分のペースで挑戦できる／クラスの仲が良い／クラスの雰囲気がとてもよくて、男女関係なくコミュニケーションがとれる／先輩がやさしい／先輩がいろいろ教えてくれる／様々な年齢層の人と関わるから視野が広がる／様々な職種の方のお話を聞くことができる／様々な活動で自分の強みを発揮することができ、やりがいを感じる／毎日が青春／みんなが明るく話しやすい／不安もあるが、楽しい／3年間同じクラスも悪くないと感じる／環境防災科に入って正解／学習するための環境が整っている／将来の夢の幅を広げることができる

「今、力を入れて頑張っていることは？」 2年生（21期生）

ボランティア活動／部活動や勉強など学生としての活動と環境防災科としての活動の両立／支援学校との交流や地域の行事／外部講師の授業で学んだことをボランティアや自分の将来に役立てること／防災と福祉をどうつなげていくのか考えること／地域の人のかわり／自分の得意なことや長所を活かして活動すること／リーダーとして人の上に立てるようになること

「夢と防災、どうつなげる？」 3年生（20期生）

青年海外協力隊として、日本の防災知識を広める／教員になって、自分の命を守れる子どもを育てたい／メディアを通じてたくさんの人に楽しく防災を学んでもほしい／災害リハビリテーションを行える理学療法士になる／国際看護師として海外の被災地で活動する／地元の防災力を高められるコンサルタントになる／災害弱者を救う消防士になる／平時でも発災時でも市民の安全を守る警察官になる

★授業以外でのさまざまな活動★

- 防災ジュニアリーダー育成事業（兵庫県／全国）
- 地域交流・ボランティア（防災訓練、児童館など）
- 垂水消防署・三木市消防での体験活動
- 学校間交流（小中学校へのお出前授業、特別支援学校との共同学習、南あわじ市・宮城県多賀城高校・新潟県糸魚川白嶺高校との連携事業など）
- メモリアルアクション KOBE
- 募金活動（被災地、コロナ禍支援）



募金活動



小学校での出前授業（1年）



消防学校（1、2年）



長田のまちあるき（2年）



宮城県訪問（希望者）

活躍している卒業生を紹介します



河越 悠太さん(42回生)

私が環境防災科に進学した理由は、消防士になるためでした。しかし、3年間「教訓を語り継ぐ」ために学び、活動する中で、防災教育に携わる「教員」の魅力にも気付くことができ、高校教員への道に進むことにしました。私にとって環境防災科は、夢に対する視野を広げてくれた場所です。今後は、目の前の生徒に誠実に向き合いながら、自分自身も成長していきたいと考えています。数年後、「教員」として環境防災科の生徒達の活動を支援する日を目指してこれからも精進してまいります。



埴 来知さん(46回生 武庫川女子大学 建築学部 景観建築学科)

夢を持ち始めたころは、災害に強い建物を設計して、被害を減らしたいと思っていましたが、授業やボランティア活動を通して、まちづくりや生活再建などにも興味を持つようになりました。環境防災科の授業やボランティア活動から多くの刺激を受けて思考を深め、視野を広げることができたおかげです。きっと、環境防災科でしか体験できないことってたくさんあると思います。失敗を恐れず挑戦してみてください。私は環境防災科での経験を活かして、これからも頑張っていこうと思います。



中野 元太さん(31回生 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター助教)

JICA海外協力隊などでの活動を通して、防災教育や被災地支援に取り組んできました。現在は外部講師として、母校環境防災科の後輩に自らの経験を伝えています。「世界視力を備えた次世代トップ研究者育成プログラム(L-INSIGHT)」第1期フェロー詳しくは動画をご覧ください。
<https://www.youtube.com/watch?v=eq8tqs2A3t4&t=6s>

卒業生の主な進路

<進学> 兵庫県立大学環境人間学部／神戸市立看護大学／神戸市外国語大学／静岡大学地域創造学環／愛媛大学社会共創学部／香川大学創造工学部・医学部／広島大学総合科学部／中京大学現代社会学部／島根県立大学総合政策学部／島根大学総合理工学部／関西学院大学総合政策学部・文学部／関西大学社会安全学部・文学部／立命館大学産業社会学部／甲南大学文学部・法学部／近畿大学法学部・経済学部・経営学部／京都産業大学国際関係学部・経営学部／親和女子大学教育学部／佛教大学社会福祉学部／神戸学院大学現代社会学部・法学部・総合リハビリテーション学部・人文学部／兵庫医科大学薬学部／武庫川女子大学生活環境学部・建築学部・食物栄養科学部／神戸女子大学健康福祉学部・短期大学／姫路大学看護学部／岡山理科大学／大阪体育大学／日本体育大学／龍谷大学短期大学部／川崎医療短期大学／兵庫県立農業大学校／神戸市医師会看護専門学校 など

<就職(大学卒業後も含む)> 神戸市消防／明石市消防／三木市消防／尼崎市消防／宝塚市消防／東京消防庁／海上保安庁／自衛官／神戸地方検察庁／兵庫県警／刑務官／衆議院衛視／明石市役所／大阪市役所／大学研究員／小中・高等学校教員／保育士・幼稚園教諭／看護師／理学療法士・作業療法士／栄養士／テレビ局／鉄道／通信／ライフライン／空港／製造業／観光業／まちづくりコンサルタント／信用金庫 など

環境防災科をもっと知りたい方は・・・

【ご覧ください】・兵庫県立舞子高等学校ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~maiko-hs/index.html>

・環境防災科ページ <https://www.facebook.com/maiko.kanbo>

【ご参加ください】・オープンハイスクール:令和5年8月3日(木)・4日(金)

・推薦入試説明会:令和5年11月3日(金)午前(全県の中学生・保護者対象)

(令和5年5月末日時点の予定)